Smart Construction Pilot Flex v1.4.3 更新内容





変更・追加機能

主な項目

- 1. ミニマップ表示範囲とラインワーク太さ表示の設定
- 2. Asbuilt取得位置の変更
- 3. ライセンス未設定時のダイアログ表示
- 4. TopographicSurveyのサーバアップロード機能の強化
- 5. アプリ再起動後の測定位置保存
- 6 共通設定の地域追加

その他

- ・簡易設計面選択時のヒートマップ描画処理の改善
- ・インターネット未接続時のライセンス反映
- ・その他不具合改修、仕様変更





ミニマップ内のラインワーク表示範囲を任意 の値*で設定できるようになりました。

これにより施工領域の広い現場において、ラ インワークデータを登録することによって現 場全体のどこに車両が位置しているのかわか りやすくなりました。





AsBuiltデータ取得位置を車体中心(車体幅で1点)から車体前方と後方 (車体幅で2点)に変更しました。





アプリ起動時にライセンスがない場合、 ライセンス購入が必要な旨のダイアログ が表示されます。





TopographicSurvey(地形計測)のサーバアップ ロードは、従来Pilot Webからダウンロードしたプ ロジェクトを設定している必要がありましたが、 Pilot Webでプロジェクト作成していない場合や簡 易設計面の場合でも、サーバにTopographicSurvey がアップできるようになりました。





ガイダンス測定位置切り替え(L・M・R/F・R)の設定が アプリの再起動でリセットされず保存されるようになりま した。



※ EARTHBRAIN 6. 共通設定の地域追加

◎ 共通設定	
言語	
	Japan Europe Asia
	→ Japan Middle East Latin America
空き容量閾値	10% ~
	<u>コピーライト</u> ライセンス

共通設定の地域に「Middle East」と「Latin America」 を追加しました。